

新病院整備事業費の見直しについて

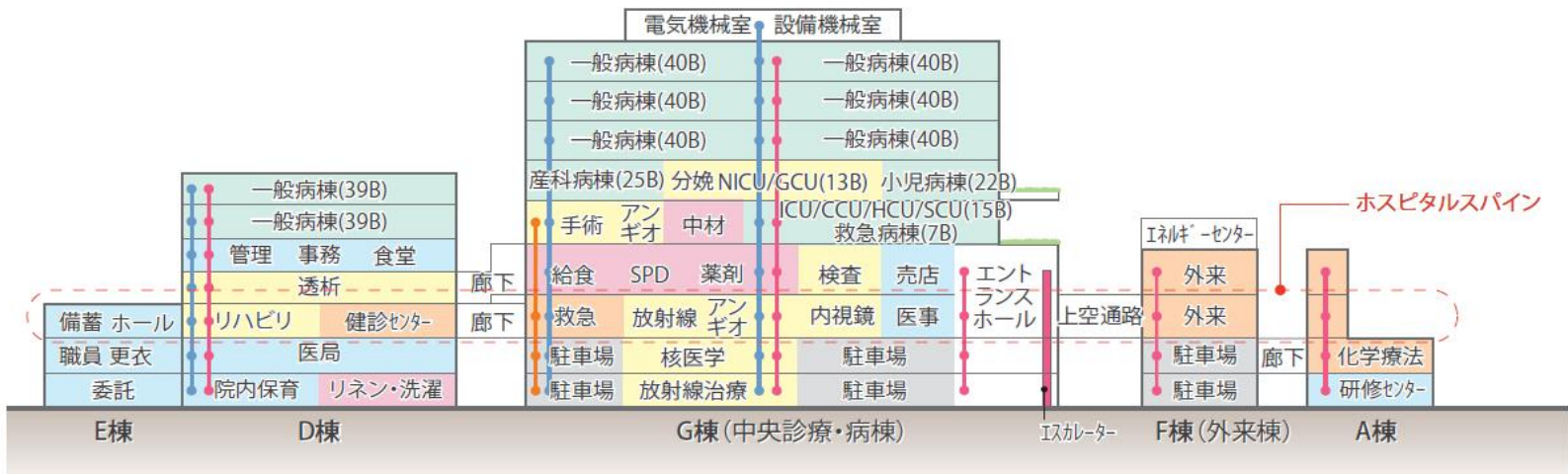
参考資料

平成25年5月31日

桑名市

桑名市総合医療センター

新病院整備事業の基本設計の概要



「桑名市総合医療センター基本構想・基本計画」(平成24年7月桑名市)一抄一

【基本計画】

Ⅶ. 施設の概要

2. 土地利用計画

既存敷地1に現在ある建物は残し、予定敷地3に新棟を建設します。既存建物のうちB, C棟については、築後30年～40年が経過した建築物であるため、新棟建築後、将来的には解体予定です。

また、既存敷地2に立体駐車場の建設整備を検討し、予定敷地4を含め、患者用・職員用駐車場として600台程度を確保するよう努めます。

3. 建設計画

①施設規模

今回の計画は新棟の建設と、それにあわせ既存施設の改修も行うこととなります。新棟は、現在のE棟の東側の位置に建設するものとします。改修が必要となるD棟ならびにE棟は、新棟との一体感を確保し、機能的な動線を確保するものとします。既存のエネルギー棟については、必要に応じて構造的補強を行うこととします。

②建物の構成

新棟の構成としては病床数400床程度が望ましいが、既存建物の活用方法とあわせ基本設計の中で検討を進めます。次期の計画では耐震基準を満たしていないB、C棟の解体が計画されているので、将来計画も含め今後検討を進めます。

新棟には、救急、手術、病棟の配置を行い、その他の部門配置については既存建物の配置検討とあわせ基本設計の中で決定します。

病棟構成については、一般病棟は1病棟当たり45床程度の病床数とし、ICU/HCU、SCU、CCUを合わせて16床程度、NICUを3床程度整備します。病室は、4床室と個室の構成とし、有料個室の割合は全体の30%程度とします。

6. 設備計画

⑧その他

□患者の療養環境を重視した施設整備をめざします

- ・ 療養環境に配慮するとともに、患者や家族にとって分かりやすく利用しやすい動線を備えた設備配置とします。
- ・ 多床室は、収納スペースやアメニティを確保するとともに、プライバシーに配慮した構造とします。
- ・ ユニバーサルデザインやバリアフリーの視点を踏まえ、施設を利用するすべての人に対して快適な空間を提供する施設整備を行います。
- ・ 来院者が利用する諸室は、利便性に考慮して、エントランスからの動線が分かりやすく短くなるように配置やサインシステムの整備を図ります。
- ・ 患者やその家族など病院を利用する人が利便しやすいアメニティ機能の向上を図るサービス施設として、売店やATMなどの配置を検討します。

□安全で災害に強い施設整備をめざします

- ・ 災害時に必要となる医薬品や食料等を備蓄し、災害に備えた施設構造や必要な設備の整備に努めます。
- ・ 大規模地震等の災害時において、病院機能の維持や患者やスタッフの安全を確保するため、建物は免震構造を原則とします。
- ・ 津波や洪水の際にも病院機能が継続できるよう、非常用発電設備や飲用受水槽、医療機器など主要な設備の設置場所に配慮します。
- ・ 熱源機器のエネルギーとしては、病院としての特性を考慮し、電気、ガス、石油等の利点、欠点を十分に検証したうえで、最も有効かつ安全性のある組み合わせを検討します。
- ・ 平常時から自然採光、自然換気など自然エネルギーを活用する施設計画を行い、災害時のエネルギー需要低減を図り、備蓄燃料の依存期間の長期化を図ります。

「提言書」(平成24年7月3日桑名市議会新病院の整備等に関する特別委員会) 一抄一

1. 「救急を含む入院が可能な小児医療の充実」、「安心してお産ができる周産期医療の充実」、「24時間安心して任せられる救急医療体制の構築」については、本市の喫緊の課題であり、重点的な整備を図ること。

新病院整備事業費の資金の流れ

平成23～26年度：141.0億円



(注) 各計数は、職員用の立体駐車場の建設に係る保証金（1.0億円）並びに建物補償費用（1.0億円）、営業補償費用（0.1億円）、テナント解約費用（0.0億円）及び境界調査費用（0.0億円）を除く。

新病院整備事業費に係る合併特例事業債の 償還計画(機械的な試算)

【試算の前提】

- 施設整備に係る合併特例事業債については、5年据え置き、25年で償還。年利1.8%を想定。
- 設備整備に係る合併特例事業債については、1年据え置き、4年で償還。年利0.5%を想定。

(単位：億円)

年度	見直し前の償還見込額			見直し後の償還見込額			増減		
	元金	利息	計	元金	利息	計	元金	利息	計
H24	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
H25	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0
H26	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0
H27	0.2	0.3	0.4	0.2	0.4	0.6	0.0	0.2	0.2
H28	0.7	0.3	1.0	0.7	0.4	1.1	0.0	0.2	0.2
H29	0.8	0.3	1.1	0.8	0.4	1.2	0.0	0.2	0.2
H30	0.9	0.2	1.1	0.9	0.4	1.3	0.0	0.2	0.2
H31	0.8	0.2	1.0	0.8	0.4	1.2	0.0	0.2	0.2
H32	0.5	0.2	0.8	0.8	0.4	1.2	0.3	0.2	0.4
H33	0.5	0.2	0.8	0.8	0.4	1.2	0.3	0.2	0.4
H34	0.5	0.2	0.8	0.8	0.4	1.2	0.3	0.1	0.4
H35	0.6	0.2	0.8	0.8	0.3	1.2	0.3	0.1	0.4
H36	0.6	0.2	0.8	0.9	0.3	1.2	0.3	0.1	0.4
H37	0.6	0.2	0.8	0.9	0.3	1.2	0.3	0.1	0.4
H38	0.6	0.2	0.8	0.9	0.3	1.2	0.3	0.1	0.4
H39	0.6	0.2	0.8	0.9	0.3	1.2	0.3	0.1	0.4
H40	0.6	0.2	0.8	0.9	0.3	1.2	0.3	0.1	0.4

(単位：億円)

年度	見直し前の償還見込額			見直し後の償還見込額			増減		
	元金	利息	計	元金	利息	計	元金	利息	計
H41	0.6	0.1	0.8	0.9	0.3	1.2	0.3	0.1	0.4
H42	0.6	0.1	0.7	0.9	0.2	1.2	0.3	0.1	0.4
H43	0.6	0.1	0.7	0.9	0.2	1.2	0.3	0.1	0.4
H44	0.6	0.1	0.7	1.0	0.2	1.2	0.3	0.1	0.4
H45	0.6	0.1	0.7	1.0	0.2	1.2	0.4	0.1	0.4
H46	0.5	0.1	0.6	0.9	0.2	1.0	0.4	0.1	0.4
H47	0.5	0.1	0.6	0.9	0.2	1.0	0.4	0.1	0.4
H48	0.5	0.1	0.6	0.9	0.1	1.0	0.4	0.1	0.4
H49	0.5	0.1	0.6	0.9	0.1	1.0	0.4	0.1	0.4
H50	0.5	0.1	0.6	0.9	0.1	1.0	0.4	0.0	0.4
H51	0.5	0.1	0.6	0.9	0.1	1.0	0.4	0.0	0.4
H52	0.5	0.0	0.6	1.0	0.1	1.0	0.4	0.0	0.4
H53	0.6	0.0	0.6	1.0	0.1	1.0	0.4	0.0	0.4
H54	0.6	0.0	0.6	1.0	0.0	1.0	0.4	0.0	0.4
H55	0.5	0.0	0.5	0.9	0.0	1.0	0.4	0.0	0.4
H56	0.4	0.0	0.4	0.8	0.0	0.8	0.4	0.0	0.4
累計	17.1	4.5	21.6	25.9	7.4	33.3	8.8	2.9	11.7

新病院整備事業費に係る病院事業債及び一般財源(貸付分)の償還計画(機械的な試算)

【試算の前提】

- 施設整備に係る病院事業債及び一般財源(貸付分)については、5年据え置き、25年で償還。病院事業債に関しては年利1.8%、一般財源(貸付分)に関しては無利息を想定。
- 設備整備に係る病院事業債については、1年据え置き、4年で償還。年利0.5%を想定。

(単位：億円)

年度	見直し前の償還見込額			見直し後の償還見込額			増減		
	元金	利息	計	元金	利息	計	元金	利息	計
H24	0.8	0.1	1.0	0.8	0.1	1.0	0.0	0.0	0.0
H25	0.9	0.2	1.1	0.9	0.2	1.1	0.0	0.0	0.0
H26	0.9	0.3	1.2	0.9	0.3	1.2	0.0	0.0	0.0
H27	1.5	0.8	2.3	1.5	1.2	2.8	0.0	0.5	0.5
H28	2.7	0.8	3.5	2.7	1.3	3.9	0.0	0.5	0.5
H29	2.9	0.8	3.7	2.9	1.2	4.1	0.0	0.5	0.5
H30	3.1	0.8	3.8	3.1	1.2	4.3	0.0	0.5	0.5
H31	2.6	0.7	3.3	2.6	1.2	3.8	0.0	0.5	0.5
H32	1.8	0.7	2.6	2.7	1.2	3.9	0.8	0.5	1.3
H33	1.9	0.7	2.6	2.7	1.1	3.9	0.9	0.4	1.3
H34	1.8	0.7	2.5	2.7	1.1	3.8	0.9	0.4	1.3
H35	1.9	0.6	2.5	2.7	1.0	3.8	0.9	0.4	1.3
H36	1.9	0.6	2.5	2.8	1.0	3.8	0.9	0.4	1.3
H37	1.9	0.6	2.5	2.8	1.0	3.8	0.9	0.4	1.3
H38	1.9	0.5	2.5	2.9	0.9	3.8	0.9	0.4	1.3
H39	2.0	0.5	2.5	2.9	0.9	3.8	1.0	0.3	1.3
H40	2.0	0.5	2.5	3.0	0.8	3.8	1.0	0.3	1.3

(単位：億円)

年度	見直し前の償還見込額			見直し後の償還見込額			増減		
	元金	利息	計	元金	利息	計	元金	利息	計
H41	2.0	0.5	2.5	3.0	0.8	3.8	1.0	0.3	1.3
H42	2.0	0.4	2.4	3.0	0.7	3.7	1.0	0.3	1.3
H43	2.0	0.4	2.4	3.0	0.7	3.7	1.0	0.3	1.3
H44	2.0	0.4	2.4	3.1	0.6	3.7	1.0	0.3	1.3
H45	2.1	0.3	2.4	3.1	0.6	3.7	1.1	0.2	1.3
H46	1.7	0.3	2.0	2.8	0.5	3.3	1.1	0.2	1.3
H47	1.7	0.3	2.0	2.8	0.5	3.3	1.1	0.2	1.3
H48	1.7	0.2	2.0	2.9	0.4	3.3	1.1	0.2	1.3
H49	1.8	0.2	2.0	2.9	0.4	3.3	1.1	0.2	1.3
H50	1.8	0.2	2.0	3.0	0.3	3.3	1.2	0.1	1.3
H51	1.8	0.2	2.0	3.0	0.3	3.3	1.2	0.1	1.3
H52	1.9	0.1	2.0	3.1	0.2	3.3	1.2	0.1	1.3
H53	1.9	0.1	2.0	3.1	0.2	3.3	1.2	0.1	1.3
H54	1.9	0.1	2.0	3.1	0.1	3.3	1.2	0.1	1.3
H55	1.7	0.0	1.7	3.0	0.1	3.0	1.3	0.0	1.3
H56	1.4	0.0	1.4	2.7	0.0	2.7	1.2	0.0	1.3
累計	61.7	13.7	75.5	88.0	22.3	110.3	26.3	8.6	34.8

桑名市総合医療センターの損益に関する試算 (平成24年度見込に基づく平成27年度推計)

【試算の前提】

- 「桑名市総合医療センター基本構想・基本計画」に盛り込まれた平均在院日数及び病床利用率並びに外来患者数の目標を基礎として、医業収益を試算。
- 地方独立行政法人桑名市民病院運営費負担金の算定方法に従い、運営費負担金を試算。
- 医業収益に対する給与費の割合を60%程度と仮定し、給与費を試算。
- 医業収益に対する材料費の割合を20.1%に据え置き、材料費を試算。

「桑名市総合医療センター基本構想・基本計画」(平成24年7月桑名市)一抄一

【基本計画】

I. 全体計画

3. 平均在院日数・病床利用率

新病院の平均在院日数は、14日を目標とします。また、病床利用率は、90%を目標とします。

4. 外来患者数

平成23年度の1日当たり外来患者数は、桑名西医療センターで474人、桑名南医療センターで125人、桑名東医療センターで556人、3病院を合計すると1,155人でした。

現行の両病院における入院外来比率(3.18)と同様とした場合、新病院での入院患者数(目標)360人(400床、病床稼働率90%)に対して、外来患者数の見込みを推計すると、1日当たり1,144人となります。但し、新病院は急性期病院としての役割を果たすため、地域の医療機関との連携を強化していくことを前提に、段階的に外来患者数を減らし、1日当たり1,000人程度を目標とします。

	平成24年度見込	平成27年度推計	増 減	備 考
経常収益	90.3億円	105.1億円	14.7億円 (+16.3%)	
営業収益	90.0億円	104.7億円	14.7億円 (+16.4%)	
医業収益	87.1億円	98.7億円	11.6億円 (+13.4%)	
入院収益	55.9億円	65.7億円	9.8億円 (+17.5%)	入院患者数の増加 (119,600人/年 → 131,400人/年) 入院単価の増加 (46,745円/人 → 49,983円/人)
外来収益	28.0億円	29.4億円	1.5億円 (+5.3%)	外来患者数の減少 (274,736人/年 → 244,000人/年) 外来単価の増加 (10,183円/人 → 12,068円/人)
その他	3.2億円	3.6億円	0.4億円 (+12.6%)	室料差額収益の増加 等
運営費負担金	2.2億円	6.0億円	3.8億円 (+170.3%)	病院の統合に伴う地方交付税病院事業算入分の増加
その他	0.7億円	0.0億円	▲0.7億円 (▲100.0%)	
営業外収益	0.4億円	0.4億円	0.0億円 (0.0%)	
経常費用	90.2億円	104.7億円	14.5億円 (+16.1%)	
営業費用	90.0億円	103.4億円	13.4億円 (+14.9%)	
医業費用	90.0億円	103.4億円	13.4億円 (+14.9%)	
給与費	53.0億円	58.4億円	5.4億円 (+10.2%)	
材料費	18.0億円	19.8億円	1.8億円 (+10.1%)	
経費	15.2億円	16.8億円	1.5億円 (+10.1%)	光熱水費の増加(+0.6億円) 委託費の増加 (+1.0億円)
減価償却費	3.4億円	8.0億円	4.6億円 (+136.7%)	新規の施設及び設備の増加(+6.0億円) 既存の施設及び設備の減少(▲1.4億円)
その他	0.4億円	0.4億円	0.0億円 (0.0%)	
営業外費用	0.1億円	1.2億円	1.1億円 (+860.5%)	利息分の償還金の増加
経常損益	0.2億円	0.4億円	0.2億円 (+122.1%)	

公立病院における経常収益に対する減価償却費の割合 (平成23年度)

	黒字公立病院	赤字公立病院	全公立病院
箇所数	443か所 (51.9%)	410か所 (48.1%)	853か所 (100.0%)
経常収益 (単位:億円)	25,018.1 (63.9%)	14,120.8 (36.1%)	39,138.9 (100.0%)
減価償却費 (単位:億円)	1,406.0 (56.0%)	1,107.1 (44.0%)	2,513.1 (100.0%)
経常収益に対する 減価償却費の割合	5.6%	7.8%	6.4%

<出典> 総務省自治財政局編「平成23年度公営企業年鑑」